

ピックルボール



バドミントンコートサイズで行うテニスゲーム。
サービス直後のラリーは必ずボールをバウンドさせて打つ、サーブ権のあるときのみ得点が入ります。

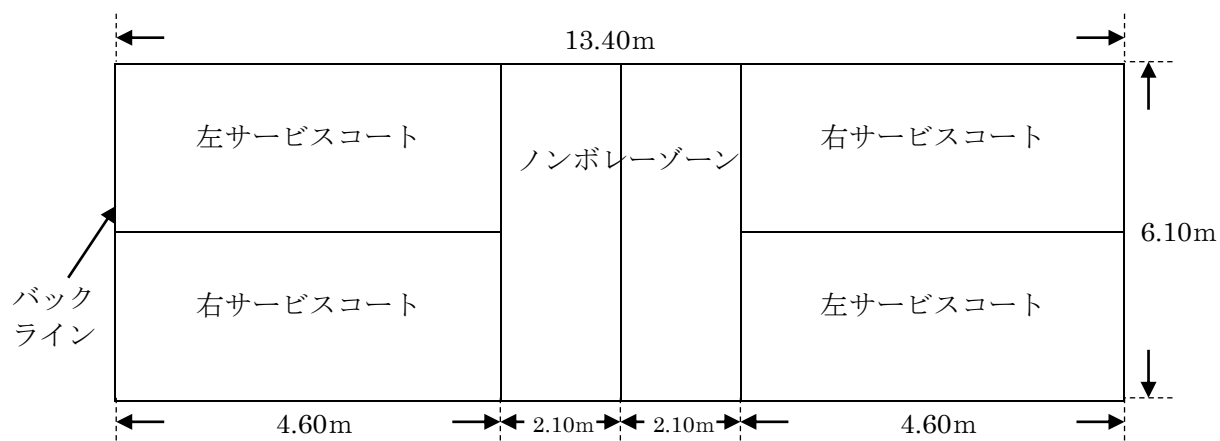
☆ 難度3★★★★～ 人数:2～4人

◎ 用具

- ◆ 木製ラケット 4本（シングルスは2本）
- ◆ ピックルボール（専用プラスチック中空穴あき） 2個
- ◆ ネット 1枚
- ◆ 支柱 2本

◎ 場所

コートは、平坦な堅い場所なら屋内外を問わずどこでもできる。ネットの高さは90cm。
バドミントンコートサイズで行う。



◎ 人数

- シングルス（1人対1人）
- ダブルス（2人対2人）

ゲームの進め方

【ルール】

ダブルスの場合

<サーブ権の決め方>

コイントスをするか、どちらかがフォールトするまでボールを打ち合う。トスカラリーに勝ったチームがサーブ権をとるか否かを決定する。

<得点と勝敗>

サーブ権のある時のみ得点することができる。ライン上に落ちたボールはセーフである。サーブをしているプレイヤーは自チームがフォールトするまでサーブを続ける。1ゲームの勝敗は11点先取で、10対10のときデュースとして、2点差がつくまで行う。

3セットマッチで2セット先取した方を勝つとする。

<サービス>

- ・サーブは、バックラインをまたいでサーブをしなければならない。
- ・サーブは、アンダーハンドで行う。ラケットはウエストより下で振らなければならない。
- ・サーバーは、ボールをバウンドさせずにサーブをしなければならない。
- ・サーブは、コートを対角線に横切ってノンボレーゾーンを越え、相手のサービスコートに入らなければならない。
- ・サーブは一度だけ行うことができる。ただし、ボールがネットに触れて相手のサービスコートに落ちた場合は、もう一度サーブすることができる。
- ・レシーブチームがサーブ権を得たときは、常に右側にいるプレイヤーからプレーをスタートする。

<コートチェンジ>

- ・ゲーム開始時または一方のチームがサーブ権を得たときの最初のサーブは常に右側のサービスコートから行う。
- ・レシーブチームがフォールトした場合、サービスチームが1点獲得する。その次のサーブは同じ人がコートを替えて（左右に移動）再びサーブする。サービスチームがフォールトした場合は、サーブを行った人のパートナーがサーブを行う。このときコートはそのままである。得点をあげた時のみコートチェンジが生じる。ただし、ゲーム開始時のみサーブ権をもつチームは一人しかサーブすることができない。
- ・ゲームの初めにサーブしたプレイヤーは、そのゲームでの得点が0か偶数の時、右サービスコートでサーブ、レシーブし、奇数の時は左サービスコートで行う。パートナーはこの逆になる。

<ボレー>

- ・ボレーとは、ボールがバウンドする前に、空中にあるボールを打つことである。
- ・ボレーは、ノンボレーゾーンの後ろで行わなければならない。ノンボレーゾーンをまたいでボレーした場合は、フォールトである。

<ダブルバウンスルール>

- ・サービス直後の1ラリーは、ボールをバウンドさせてから打たなければならない。すなわち、レシーブチームはサーブされたボールを、サービスチームはリターンされたボールを、一度バウンドさせてから打たなければならない。これをダブルバウンスルールという。
- ・ダブルバウンスが終れば、ボレーでもバウンドしたボール打つことができる。

<フォールト（反則）>

- ・コートの外に出たボールを打ったとき。
- ・ノンボレーゾーンに足を踏み入れてボレーしたとき。
- ・両サイドで一度ずつバウンドさせる前にボールをボレーしたとき。

ダブルスの場合

次の場合を除いて、ダブルスのルールが全て適用される。

- シングルスの場合は、自分の得点が0か偶数の時、右側のコートからサーブする。それ以外の場合は、左側のコートからサーブする。